

2-8

## 2SB200

## 中電力増幅用

2SB200 はゲルマニウム PNP アロイ接合形低周波用中出力トランジスタで、電力増幅、スイッチング用等に適しております。電力増幅用に用いてB級プッシュプルで1Wの出力が得られます。

外形 2-8

## 最大定格（周囲温度 25°C）

コレクタ・ベース間電圧	$V_{CBO}$	最大	-32	V
コレクタ・エミッタ間電圧 (ベース・エミッタ間抵抗=200Ω)	$V_{CE0}$	最大	-32	V
エミッタ・ベース間電圧	$V_{EBO}$	最大	-12	V
コレクタ電流	$I_C$	最大	-400	mA
コレクタ損失	許容コレクタ損失—周囲温度特性曲線参照			
周囲温度	保存時	最小	-55	°C
		最大	85	°C
接合部温度	$T_j$	最大	75	°C

## 電気的特性（周囲温度 25°C）

ベース接地		最 小	標準値	最 大
コレクタ遮断電流 ( $V_{CB}=-12V$ , $I_E=0$ )	$I_{CBO}$	—	—	-40 μA
エミッタ遮断電流 ( $V_{EB}=-12V$ , $I_C=0$ )	$I_{EBO}$	—	—	-70 μA
遮断周波数 ( $V_{CB}=-1.0V$ , $I_E=100mA$ )	$f_{ab}$	—	500	— kc
エミッタ接地				
大信号電流増幅率 ( $V_{CE}=-1.0V$ , $I_C=-150mA$ )	$h_{FE}$	30	75	150
ベース・エミッタ間電圧 ( $V_{CE}=-6.0V$ , $I_C=-3mA$ )	$V_{BE}$	-0.09	-0.11	-0.13 V

## シングル動作例（周囲温度 25°C）

エミッタ接地 (A級シングル, 周波数 1kc)					
電池電圧 ( $V_{CC}$ )	-6	-9	-6*	-9*	-12* V
コレクタ電流 ( $I_C$ )	-23	-16	-46	-32	-25 mA
エミッタ抵抗 ( $R_E$ )	40	80	20	50	80 Ω
負荷抵抗 ( $R_L$ )	250	800	100	250	500 Ω
バイアス回路抵抗 ( $R_1$ )	1000	1300	400	700	1000 Ω
最大出力 ( $P_o$ )	45	45	85	100	110mW
最大出力時の入力電圧 ( $v_i$ )	65	55	75	70	80mV
最大出力時の入力抵抗 ( $r_i$ )	250	275	130	180	240 Ω

最大出力時の電力利得( <i>PG</i> ).....	34	36	33	35	36	dB
最大出力時の全高調波歪( <i>KF</i> )...	6.0	6.6	6.6	7.6	8.4	%

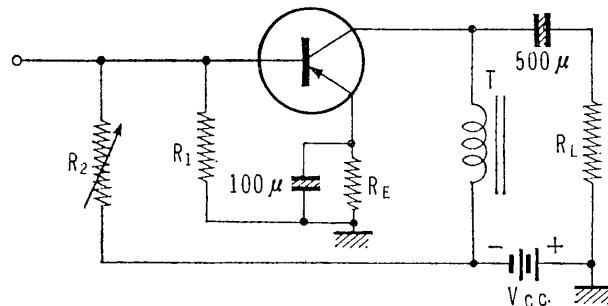
## プッシュプル動作例(周囲温度 25°C)

エミッタ接地(B級プッシュプル, 周波数 1kc)

電池電圧( <i>V<sub>CC</sub></i> ).....	-6	-9	-6*	-9*	-12*	V
コレクタ電流(無信号時 2 本の 値 <i>I<sub>C</sub></i> ).....	-4	-4	-6	-6	-6	mA
エミッタ抵抗( <i>R<sub>E</sub></i> ).....	2	5	2	2	3	Ω
負荷抵抗(両コレクタ間 <i>R<sub>L</sub></i> )...	200	400	60	125	250	Ω
バイアス回路抵抗( <i>R<sub>1</sub></i> ).....	50	50	30	30	30	Ω
最大出力( <i>P<sub>O</sub></i> ).....	0.3	0.35	0.8	1.1	1.1	W
最大出力時のコレクタ電流 (平均値 2 本の値 <i>I<sub>C</sub></i> ) .....	83	70	224	187	141	mA
最大出力時の入力電圧 (両ベース間 <i>v<sub>i</sub></i> ) .....	0.8	1.2	1.5	1.5	1.4	V
最大出力時の入力抵抗 (両ベース間 <i>r<sub>i</sub></i> ) .....	1,500	2,700	1,200	1,200	1,600	Ω
最大出力時の電力利得( <i>PG</i> )...	28	28	26	27	29	dB
最大出力時の全高調波歪( <i>KF</i> )	3.5	2.5	3.4	3.5	4.1	%

\* ラジエータホルダ RH-2 を用いておのおの 1mm 厚 10cm<sup>2</sup> の放熱板を付けた場合。上記動作例は何れも周囲温度 50°C 以下で用いる。

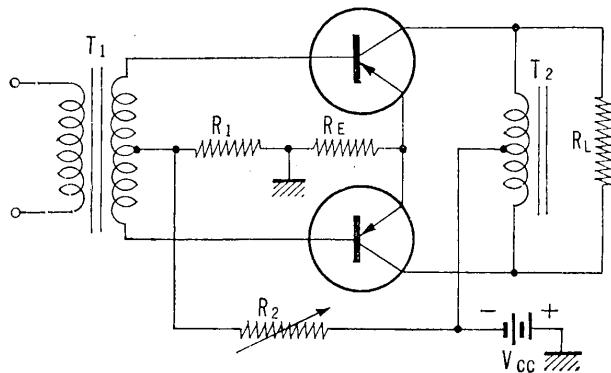
## 動作例説明回路図(A 級シングル)



① *R<sub>2</sub>* は動作例のコレクタ電流になるように調整する。

② 動作例の出力、利得などの値は *T*に挿入損失の無視できるものを使用した場合のもの。

## (B 級プッシュプル)

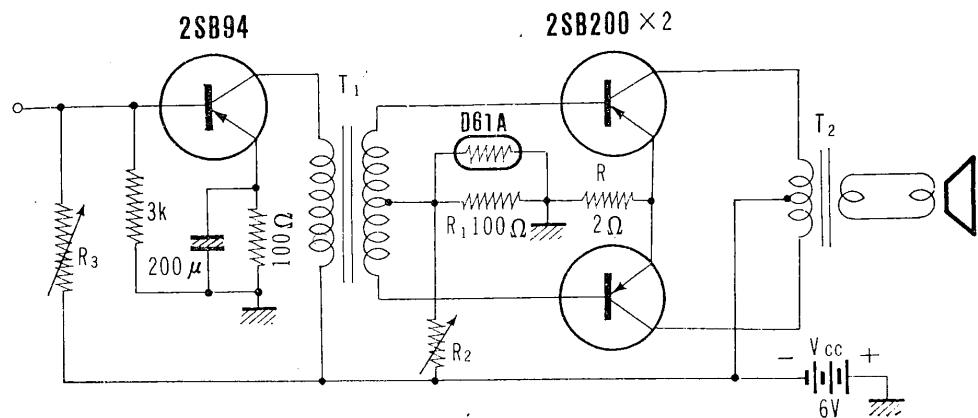


① *R<sub>2</sub>* は動作例のコレクタ電流(無信号時 2 本の値)になるように調整する。

② *r<sub>i</sub>* は *R<sub>1</sub>* を挿入した状態の入力抵抗値。

③ 動作例の出力、利得などの値は *T<sub>1</sub>*, *T<sub>2</sub>* に挿入損失の無視できるものを使用した場合のもの。

## 動作回路例

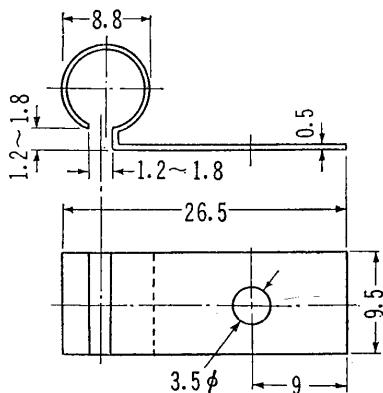


$R_2$ : 無信号時コレクタ電流が、-6mA になるよう調整する。

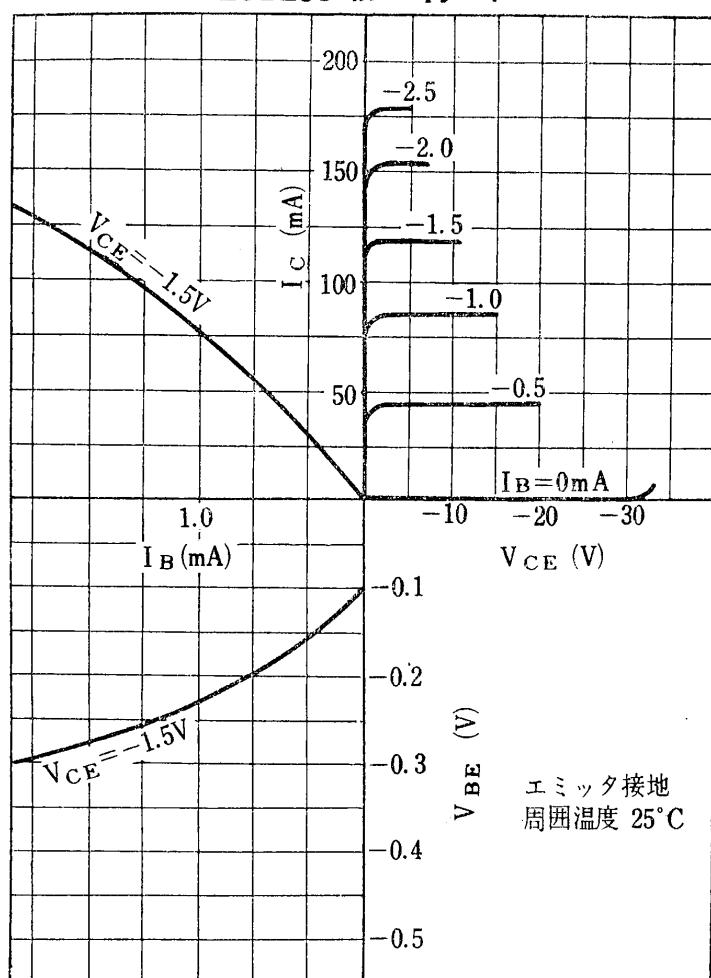
$R_3$ : コレクタ電流が、-10mA になるよう調整する。

おのおのの 2SB200 にはラジエータホルダー RH-2 を用いて  $10\text{cm}^2$  のアルミ板をつけ出力 1W とった場合。

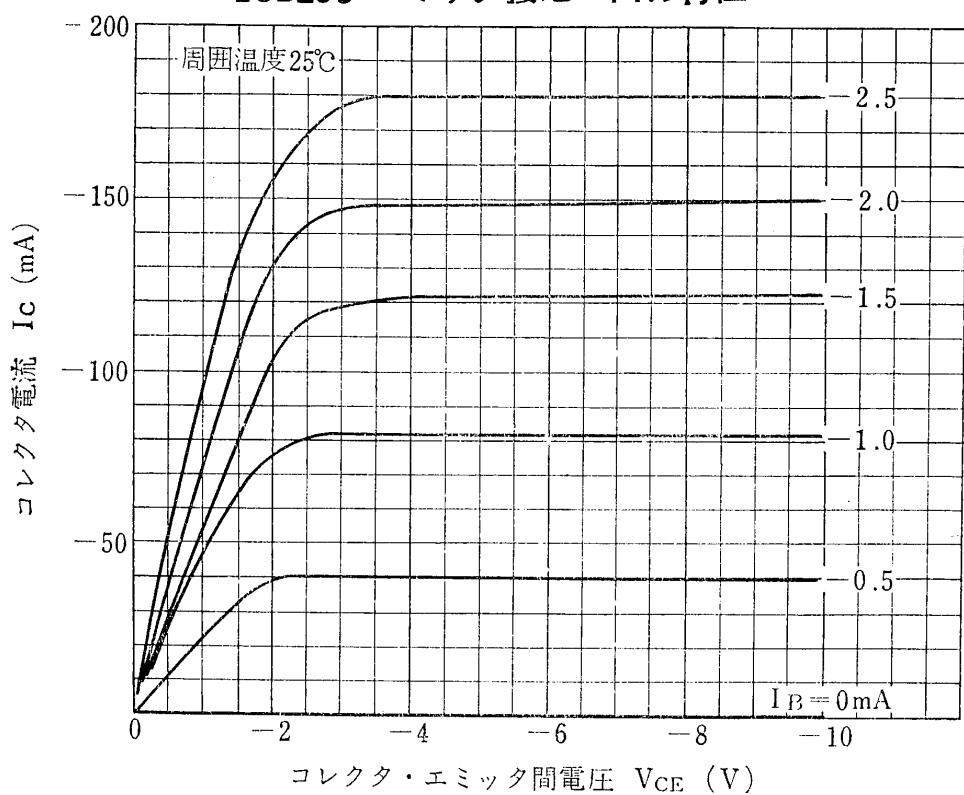
ラジエ-タホルダ RH-2



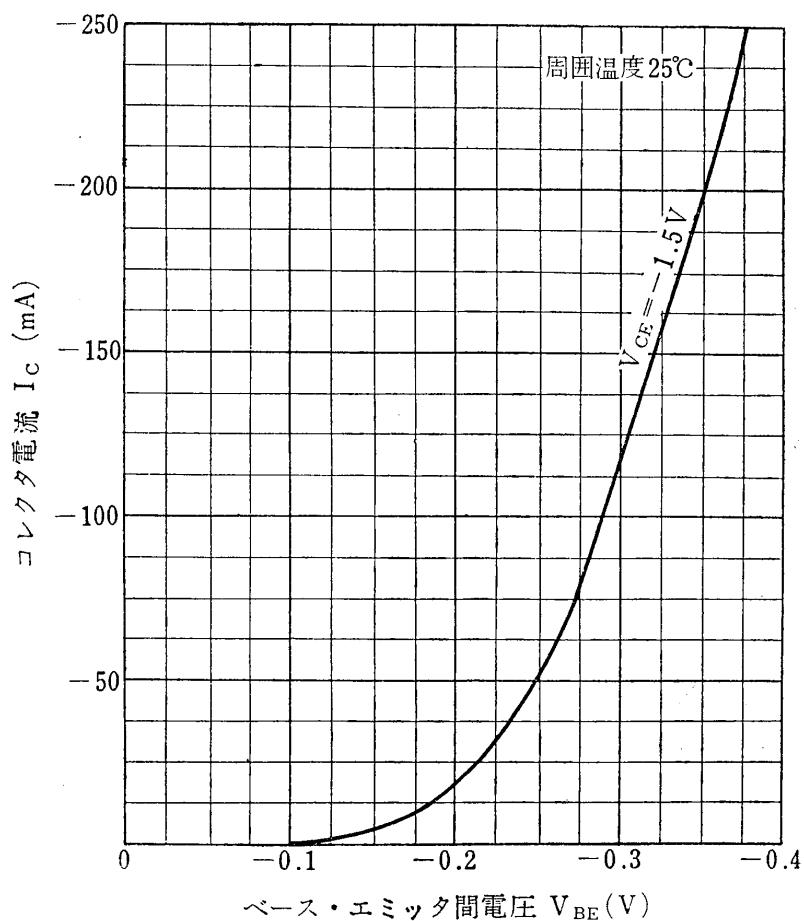
## 2SB200 静 特 性



## 2SB200 エミッタ接地 出力特性



## 2SB200 エミッタ接地 相互特性



## 2SB200 許容コレクタ損失-周囲温度特性

